

ぬまた 市議会だより

第62号

6月定例会

令和3年
8月1日



安心な生活へ 進むワクチン接種



新しい沼田へ

内容 議会構成替え
6月定例会 など



沼田市議会HP

久保新議長の下 沼田市議会新体制に

沼田市議会では、慣例により議長の任期を2年としています。

5月11日、臨時会が開かれ、正副議長の選挙や常任委員等の選任のほか、監査委員の選任などが行われました。

正副議長選挙では、議長に久保健二議員、副議長に戸部博議員が選出されました。久保議長は5期目、戸部副議長は2期目です。

新体制、新しい委員構成で沼田市議会がスタートしました。

久保議長あいさつ



久保健二議長

戸部博副議長

このたび、5月の臨時議会におきまして議長及び副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに職責の重さを痛感しております。

民の皆さまの負託に応えられるよう誠心誠意、力を尽くしていく所存でございます。

現在は、新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延するなかで、本市におきましても地域経済や市民生活に大きな影響が生じております。

市議会といたしましては、皆さまの生活と健康を守るためにも、市民の思いを市政に反映していく地方議会の原点を意識し、二元代表制の一翼を担う議会として、持てる力を十分発揮できるよう努めてまいります。

市議会がさらに身近に感じられ、期待されるよう取り組んでまいりますので、市民の皆さまにおかれましては、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公正、公平な議会運営に努め、市

総務文教常任委員会

所管事項 総務部・教育委員会の所管に属する事項

委員長 高山敏也
副委員長 山宮敏夫



島田康弘議員

金子浩隆議員

星野佐善太議員

高山敏也議員

山宮敏夫議員

戸部博議員

星野稔議員

5期 沼田創生会
市民との対話を第一に、心のキャッチボールを実践していきます。

2期 沼田創生会
コロナ禍で市民の皆さんが安全・安心な生活が送れるよう努力していきます。

1期 新政同志会
将来をしっかりと見据え、今を行動して行きます。未来を担う子どもたちのために。

3期 新政同志会
市政と自らを、市民の目線と弱者の視点から。

7期 沼田創生会
公正公平な姿勢こそ信頼の基本。これを信念信条とし市民市政発展に邁進します。

2期 無会派
公平・公正・公開の政治
新型コロナ感染症禍から市民の命、生活、経済を守る。

1期 無会派
新たな気持ちで努力します。
直接お電話ください。
09029140214

6月 定例会

6月1日から11日までの11日間、令和3年度補正予算、条例の改正、人権擁護委員推薦の諮問など計16件と、請願2件を審議しました。特に市役所跡地の利活用に関しては、本会議、委員会をとおして多くの意見が出されました。また、11人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

市役所跡地活用 ルートインジャパン(株)へ貸付

かねてより活用方法について検討が進められてきた市役所跡地について、ルートインジャパン株式会社への貸し付けが決定しました。

市は、令和元年5月7日に行われた「沼田市ファシリテイマネジメント施策に関する民間提案制度・テーマ設定型」において優先交渉権を獲得した同社と令和2年3月末に基本協定を締結しました。

今議会に、同社がホテル業を営むことを目的に、市役所跡地に事業用定期借地権を設定し35年間貸し付けを行う議案が上程され、総務文教常任委員会、本会議での議論を経て貸し付けることを決定しました。

ホテルは、令和3年8月着工、令和4年11月の営業開始を見込んでいます。

中央公民館解体工事を契約

本年3月をもって閉館となった市中央公民館の解体工事契約を議決しました。

◎契約金額

1億5,950万円

◎落札業者

(株)オーケンコーポレーション

(仮称)ホテルルートイン沼田外觀イメージ



※建設が予定されるホテルは、完成すると市内で最も高層の10階建ての建築物となる。

客室数は、242室の見込み。

小中学校給食費無料化を求める請願を採択

6月8日、総務文教常任委員会が開催され、新日本婦人の会沼田支部による「学校給食費の無料化を求める請願書」を審査し、全会一致で採択すべきものと決定。6月11日の本会議で採択されました。

審査の過程では、無料化とした場合の財政負担増や、無料化の段階的実施の検討状況などの質疑がされました。

委員からは、「財政的な問題は工夫して捻出すべき」「コロナ禍の中、急ぐ必要のない事業よりも優先し、早急に検討すべき」「直ちには言わないが、早急な実施を検討すべき」「第何子から対象とするかなど、段階的な実施の検討をすべき」などの意見が出され、今後、沼田市としても学校給食費の無料化に取り組むべきとの結論が出されました。



市役所跡地を35年間 "ホテルルートイン"

貸し付けに**反対** (要旨)

コロナ禍において疲弊する市内経済、観光業、飲食業の再生・発展の希望になり得るもので、市財政への貢献も見込まれるという意見に一定の理解はしますが、当局の進め方は余りにも雑で、事前に説明責任を果たさず、市民の心に傷を負わせ、市民との間に溝を作っても推進する姿勢は異様に見えます。

「NIMBY問題(いい話かもしれないが、それは自分の裏庭には持ってこないでくれ)」が解決を見ておらず、更には、33億円とされた経済効果の信憑性もないと判断し反対します。「住民が泣き、死に、自治体だけが生き残る」ようなことあってはなりません。

ルートインの進出計画における市民に対する説明会や相談会を今後も幅広く開き、問題点を解決していくべきです。全市民の貴重な財産の貸付によって権利を侵害される市民が出ることは最も避けるべきことであり、今回の拙速、強引な市のやり方は、問題解決に至りません。

賛成 反対 6人が討論

貸し付けに**賛成** (要旨)

ホテルルートインの進出は、沼田市を含めて、ほんの数件と聞き及んでいます。この「ゲームチェンジャー」は、これまで苦労を凌ぎ続けてきた沼田市民全員への「天からの贈り物」と考えて積極的な対応すべきです。明るい「未来予想図」を現実のものとするを切願します。

行政手続きの進め方、市民への情報公開の仕方には不満はありますが、コロナ禍で疲弊しきつた観光業、飲食業、仕入れ業者をなんとかしても再生し、沼田の未来をつくっていかねればなりません。指摘された不備を謙虚に補って、近隣住民の方々に寄り添いながら、事業を進めていただきたいと考えます。

5年後には、賃料や固定資産税など、直接的な収入も約2千万円発生します。この大きな財源を生かして、子どもたちのために何か新たな施策が打てるではありませんか。その機会をみすみす逃すことは、住民の負託を受けた沼田市議の一人として、到底承諾できません。

令和2年度
政務活動費収支報告
(令和2年4月1日～
令和3年3月31日)

会派名	人数	交付額	支出額	戻入額
日本共産党沼田市議団	2人	240,000円	235,660円	4,340円
沼田創生会	7人	840,000円	624,941円	215,059円
新政同志会	7人	840,000円	0円	840,000円
星野妙子(会派外議員)	1人	未申請		
金子浩隆(会派外議員)	1人	120,000円	120,000円	0円
高柳勝巳(会派外議員)	1人	未申請		
井上 弘(会派外議員)	1人	120,000円	74,912円	45,088円

※ホームページで会派別に支出明細、領収書写、視察報告等を公開しています。



人事案件

・人権擁護委員の推薦(諮問)

星野尚氏
茂木恵司氏
真庭理子氏
藤井拓郎氏
井上巧氏

市政を問う！

一般質問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを問うのが「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。ここでは、各議員が自ら編集したダイジェスト版で質問内容をお伝えします。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

中村 浩二	希望が抱ける持続可能な地域づくり
三ツ石岩男	本市の少子化と小中学校統合問題
井上 弘	『帰ってきたくなる沼田市』を目指す
高柳 勝巳	ワクチン接種順序と水泳授業の民間委託化
桑原 敏彦	地域経済を活性化する人材・場所・仕事づくり
大東 宣之	コロナ対策、経済対策、デジタル化
永井 敏博	てんぐー活用とサラダパークの運営
金子 浩隆	ウイズコロナの「未来予想図」を描く
星野 妙子	利根支所庁舎、使用中止後の利活用は
島田 康弘	人口増のためのまちづくりを
井之川博幸	ホテル建設に伴う日照権侵害などの解決を

スマホから議会を見よう！
議会インターネット中継
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継
 会議名や議員名を選んで視聴できます。

希望が抱ける持続可能な地域づくり

中村 浩二



Q利根沼田地域定住自立圏構想の中心市宣言に基づく、都市機能等の更なる充実と強化について伺います。

A中心市としての役割を果たしつつ、それぞれの市町村が持つ都市機能や地域資源を相互に有効活用することで、住民生活に必要な機能を確保・充実していきたいと考えています。

Q利根支所庁舎の今後の計画と利根町住民への説明等について伺います。

A今後の方針は除却または使用中止、規模縮小で更新としていきます。本年度中に利根支所機能は利根町若者定住センターへ仮移転し、庁舎は使用中止を予定しています。その後の跡地利用は、庁内での調整を図るとともに、地元住民への説明や協議を進めていきたいと考えています。

Q旧市役所跡地の利活用について伺います。

A令和2年3月30日にルートインジャパン(株)との間で「沼田

市役所跡地活用事業」に関する基本協定を締結し、本年6月1日に事業用定期借地権設定仮契約を締結、本議会に追加議案として上程させていただきました。議決後はルートインジャパン(株)により本年8月下旬にホテル建設工事に着手し、令和4年11月の開業を予定しています。

Q中央公民館除却後の跡地の利活用について伺います。

Aルートインジャパン(株)から中央公民館除却後の跡地はホテル駐車場として活用したい旨の提案がありましたが、現在、決定には至っていません。公有地の利活用は、将来の沼田市において必要な事業であるかを慎重に判断し、進めていきたいと考えています。



使用中止予定の利根支所庁舎

本市の少子化と小中学校統廃合問題

三ツ石 岩男



【Q】沼田市の人口の推移をみると、毎年約500人減少傾向にあり出生数をみると、ここ数年300人弱減少傾向にあります。少子化についての考えを伺います。

【A】全国的に少子化が進んでおり、本市においても例外ではありません。少子化は、生産年齢人口の減少につながることから、本市においても重要な課題であると認識しています。

【Q】小中学校の統廃合について全国的に考える時期に来ています。小中学校の統廃合に関する考えを教育長に伺います。

【A】各学校の教育の質が確保されることはもとより、児童生徒数の推移や学級数の推移、地域住民の方々の考えや思い、国や県の動向などを考慮しながら、慎重に研究を進めています。

【Q】小中学校の統廃合のメリットとデメリットについて教育長に伺います。

【A】統廃合のメリットは、集団が大きくなることで、多様な意見

や考えに触れる機会が増えます。一方、デメリットは、個々の学習状況に応じたきめ細かな指導が難しくなることや遠距離通学などの配慮が必要となります。

【Q】学習指導要領の全面改訂に伴う沼田市の未来に伝えられる教育について教育長に伺います。

【A】沼田市教育水準向上研究推進計画のもと、授業改善を中核に据えて、新学習指導要領の全面実施に向けた準備を着実に進めてきました。これまで蓄積されてきた教育実践をもとに、子供たちに生きる力を身に付けさせることが、沼田市の未来に伝えられる教育と考えています。



地域で支える少子化

『帰ってきたくなる沼田市』を目指す

井上 弘



【Q】進学で沼田を離れた子どもたちが『帰ってきたくなる沼田市』を目指すことへの考えを伺います。

【A】子どもたちが沼田に誇りと愛着を持てる教育と、安定した所得が得られる「働く場所」の確保、魅力的な地域づくりが必要と考えています。「第2期沼田まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる、「稼ぐ地域をつくり、安定した雇用創出することによる若年層の転入促進や、「ひとが集い安心して暮らせる魅力的な地域をつくる」など、4つの基本目標に沿って進めたいと考えています。

【Q】奨学金返還支援制度についてどう考えるか伺います。

【A】昨年4月に、高等教育における修学支援新制度の施行に伴う、授業料や入学金を免除し又は減額する制度創設や給付型奨学金の拡充を踏まえ、各自治体で実施している奨学金返還支援制度の事業効果を確認しながら、



進学後帰ってきたやすくする支援を
(写真は一昨年の沼高生との意見交換会)

奨学金の返還支援も含め、より効果的な定住促進事業を検討したいと考えています。

【Q】地域ケア会議を活用した誰もが住みやすい地域づくりについてどう考えるか伺います。

【A】地域ケア会議は、高齢者全般に係る課題解決に向けた取り組み、医療・介護・福祉のネットワークの構築、地域課題の発見及び地域づくりや資源開発、政策形成・提言に向けた協議等が検討事項です。高齢者のみならず地域の課題解決に向けての協議を通じて、住みよい地域づくりに寄与できると考えています。

一般質問

ワクチン接種順序と水泳授業の民間委託化

高柳 勝巳



Q エssenシャルワーカーの中には、重要な優先接種対象者が存在しています。教員の方々、幼稚園・保育園、学童保育関係者、そして福祉関係従事者の方々は、コロナ禍にあってもサービスマ提供の中断を欠くことの出来ない重要な社会的事業です。

現在の実施計画を混乱させることなく、感染拡大を防止するために、最大かつ効果的なワクチンの優先接種の具体的な実施方法を強く望みます。

A 本市では、高齢者接種においては、クラスターの発生頻度の高い入所居住型高齢者施設の入所者や従事者等の接種を優先的に実施してきました。

国の「高齢者向け接種の前倒しについて」の発出を受け、夜間における接種体制も整え、集団接種の日程を追加しました。

Q 千葉県佐倉市が導入した「水泳授業の民間委託方式」導入検討の進捗と課題について伺います。



A 今年度は、市内小学校1校が市内のスイミングスクールにおいて、民間施設を利用した水泳の授業を試行する予定です。

これは、施設の効果的な利用や教育的効果、安全面等を考慮したうえで、先行的に実施するものです。

今後については、今年度の試行の状況を踏まえて、成果や課題を明らかにし、水泳授業の民間委託化を市内の他校へも広げられるか否かを慎重に見極めていきたいと考えています。

地域経済を活性化する人材・場所・仕事づくり

桑原 敏彦



Q スマート農業の推進により、発育状況の管理、水やり・追肥等の作業時間の短縮、収穫作業時のロボット化が進んでいます。が、農業の高齢化が進む中、デジタル技術の習得は進まず、この現状は林業・建設業なども同様です。新しい地方創生の実現に向けた地域におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進は、地方行政を担う沼田市が全国に先駆け、いち早くデジタル人材の育成を推進し支援する事が重要です。デジタル人材育成の推進と支援について伺います。

A デジタルに関する知識のみならず、地域が必要とする業務とできる人材を育成していくことが重要であると考えています。



Q 公共用地や公共施設、役目を終えた遊休施設は、活用の仕方を考えれば、地域を活性化させる宝になります。そこで、本年度から遊休施設となった利根屋内プールの利活用について提案します。水中ドローンは、ダム湖の調査や、排水管・給水管の中を調査できるまでに進化しています。この操縦技術を習得する場所として、利根屋内プールの利活用について伺います。

A 利根町屋内プールについては、沼田市公共施設等総合管理計画におけるアクションプランにおいて、「除却または使用中」となっています。当該施設の敷地は、借地であることから、なるべく早期に除却を行い、返却するための検討を行っているところですので、ご理解賜りたいと考えています。

※その他の質問：新宿の森・沼田の整備、(旧)根利小学校の利活用、地域活性化に向けた仕事づくり

市政を問う!!

コロナ対策、経済対策、デジタル化

大東 宣之



Q 感染拡大防止にどのように取り組むのか伺います。

A 国や県の対応方針、ガイドライン等をもとに、情報提供に努めるとともに、感染予防対策の更なる徹底に努めていきたいと考えています。

Q PCR検査、抗原検査の実施についてどのように考えているのか伺います。

A これらの検査は、感染拡大防止の観点から重要であると考えています。群馬県では、6月から飲食店の従業員を対象としたPCR検査を予定しており、その情報共有に努めていきたいと考えています。

Q 新型コロナウイルス接種の予約状況と接種の取り組みはどのように進められるのか伺います。

A 医療機関において個別接



市内で進むワクチン集団接種

種とともに、集団接種を並行して実施し、希望される皆さんへの早期のワクチン接種完了に向けて、取り組みを進めていきたいと考えています。

Q 「まん延防止等重点措置」の重点措置区域指定を受け、営業時間の短縮などの要請と支援についてどのように行われるのか伺います。

A 県が行なう支援策「営業時間短縮要請協力金」について、6月下旬から申請受付が開始されるので、現地調査の機会等を活用し、周知に努めたいと考えています。

Q デジタル化に取り組みにあたって個人情報保護、プライバシー権の尊重、個人の情報が活用されることについての本人同意についてどのように対応するのか伺います。

A デジタル化が進んでも変わることはない業務上の最重要項目として、法令順守、個人情報保護を徹底していく所存です。

てんぐー活用とサラダパークの運営

永井 敏博



Q てんぐー春のプレミアムチャージの経済効果について伺います。

A キャンペーンの効果により、発行総額13億7,705万円、利用金額は5億7,436万円でした。コロナ禍における経済対策事業として、大きな経済効果があったと考えています。

Q てんぐー加盟店側の評価と本市の対応について伺います。

A 加盟店側の評価は、「客足や売上げが伸びた」といった声を直接お聞きしたり、てんぐーのロゴマークをチラシやHPなどで使用し、加盟店自ら事業をPRしていただいていたことなどから、おおむね高い評価をいただいていると認識しています。実証実験期間中に、加盟店のご意見を聴取のうえ、10月以降の本格稼働に向けて反映していきたいと考えています。

Q 病院や薬局などの医療機関の支払いへの使用検討について伺います。

A 現在、薬局については多数加

盟していただいておりますが、診療費等の支払いに対応する医療機関の加盟はない状況です。医療機関のキャッシュレス決済の導入状況などについて聞き取りを行いながら、てんぐー利用の可能性について、研究していきたいと考えています。

Q サラダパークの事業者選定の進め方について伺います。

A 今後の方針を「民営化」として、今年度は、沼田市ファシリテイマネジメント施策に関する民間提案制度のテーマ設定型による公募を予定しています。



サラダパークぬまた

一般質問

ウイズコロナの「未来予想図」を描く

金子 浩隆



【Q】ホテルルートイン建設計画に反対の要望、推進の請願が出されました。

市長の考えと対応は。

【A】ルートインジャパン(株)によるホテルの建設について賛成や推進を願う意見のほか、再検討を求める意見が存在することは承知していますが、本事業は沼田市の地域経済をはじめとして、多方面に好影響をもたらす重要な事業と考えています。様々な意見をきめ細かく伺い、計画実現に向けて丁寧に説明していきたいと考えています。

【Q】中央公民館の跡地利用は、公平、公正に議論、手続きが進められなければならないと思いますが。

【A】ルートインジャパン(株)から「宿泊施設を核とした市街地活性化事業」において、中央公民館除却後の跡地はホテル駐車場として活用したい旨の提案がありました。市役所跡地の協議を先行して現在に至っています。中央公民館除却後の跡地利用



ホテルルートイン渋川

用については、現在、決定にまでは至っておりません。

将来の沼田市において真に必要な事業であるかを慎重に判断し、進めていきたいと考えています。

【Q】沼高沼女の統合について、現在の状況と地元市長としての考え、取り組みは。

【A】令和3年度の後期選抜志願倍率では、沼田高校、沼田女子高校ともに定員割れでした。

私の立場としては、地元の教員基盤の整備・充実の視点から、重要な課題であると考えています。

利根支所庁舎、使用中止後の利活用は

星野 妙子



【Q】早急に利根支所除却後の日程を示すべきです。市長に伺います。

【A】利根支所使用中止後の利活用について庁内調整を図り、利根支所を中心に利根町住民と協議していきたいと考えています。

【Q】公園や観光地において安心して快適に利用できるトイレ整備について伺います。

【A】快適なトイレを提供することは利用者の利便性を高め施設のイメージアップに繋がる大切なことだと理解しています。利用状況や老朽化を勘案し、更新・改修の際には、バリアフリー法の基準やユニバーサルデザイン導入の方針に基づき、推進していきたいと考えています。

【Q】男女共同参画の視点を取り入れた地域防災計画における女性リーダー育成について伺います。

【A】女性リーダー育成は、災害予防対策や災害応急対策を行う上で、大変効果的と考えています。女性消防隊ソレイユ隊長の防災

会議メンバーへの参加、女性隊による避難所運営訓練などの取り組みが始まったところです。

【Q】生理用品や紙オムツの防災備蓄品追加について伺います。

【A】生理用品や紙オムツは「自準備蓄」をお願いしていますが突発的な大規模災害に備え、女性や高齢者等に配慮した備蓄品目の追加を検討していきたいと考えています。

【Q】ドイツフェンシングチーム事前合宿とコロナ対策について伺います。

【A】ドイツフェンシング協会と情報交換を行い、感染症対策の徹底を盛り込んだ受け入れマニュアル作成を進めています。



利根支所が仮移転する利根町若者定住センター

人口増のためのまちづくりを

島田 康弘



Q旧市役所跡地活用に関して、**NIMBY (Not In My Backyard)** (自分の家の裏庭への誘致はごめんだ) という問題を始めたというホテル誘致の諸課題について、想定される様々なリスクを住民に伝え充分なコミュニケーションが市と企業と住民の間でとられていたか伺います。

A周辺に日陰の時間帯が増えるなど近隣にお住まいの皆様が心配されていることは承知しておりますので、皆様の不安が解消できるように建物位置や日陰の影響等丁寧に説明し、ご理解いただきたいと考えています。

Q県への建築関係の許可について柔軟な対応を市が県に働きかけることは可能か伺います。

A建築確認申請等については、群馬県若しくは指定確認検査機関により法令に照らし、厳正に審査されているものと考えます。

Q夕食レストランのサービス提供の問題について伺います。

A夕食のレストランについては、

団体利用での希望者、高齢者や宿泊当日の都合で外食できない方などのために、簡易なメニューを用意すると伺っており、ビジネスホテル宿泊者の傾向として大半の方が、市内飲食店を利用するものと考えています。

Q地元の高校の再編統合課題について、人口増に繋げるための沼高と沼女の再編(ヴィジョン、2キャンパス制等)を通じたまちづくりについて伺います。

A高等学校については、都市機能の重要な構成要素の一つです。高校は、大学や専門学校など高等教育への橋渡しとして、極めて重要な教育機関であることから、沼高と沼女の再編については、利根沼田における教育基盤という視点から注視してまいりたいと考えています。



朝日を浴びる旧市役所跡地西側

ホテル建設に伴う日照権侵害などの解決を

井之川 博幸



Q中央公民館廃止に伴う代替施設の改善について伺います。

Aテラス沼田では、昨年より1階多目的スペースの改修や陶芸窯の設置、防災会議室の貸し出しや備品の整備を行っており、保健福祉センターも、環境改善を進め、利根沼田文化会館各種ホールの利用補助制度の創設など活動支援を拡大しています。

Q施設使用料金の増額中止要求に対する対応について伺います。

Aテラス沼田6階コミュニティテラス使用料は7月1日から減額割合が3分の2から2分の1に変更となります。

Q中央公民館の除却後の跡地利用について伺います。

A総合的に検討していきたいと考えています。

Q市議会で採択された文化協会などが要望している施設の検討について伺います。

A総合的に勘案し、検討を重ねていきたいと考えています。

Q旧市役所跡地の活用について、

社会的ルールを守らない企業は、市民の大切な財産である旧市役所跡地に誘致する企業に値しないのではないかと。

Aルートインジャパン(株)は、旧市役所跡地を活用いただく企業として、極めて適格であると考えています。

Q日照・風・電波などの問題が出るとともに、風致・交通などの問題も出ると思うが、関係する市民に対して補償や改善を含むような交渉はどのように行おうとしているのか伺います。

A近隣の皆さまが心配されていることは承知していますので、不安を解消できるよう建物位置や日陰の影響など、ルートインジャパン(株)とともに丁寧に説明し、ご理解いただきたいと思います。と考えています。



廃止・解体される沼田市の文化・芸術の殿堂として市民文化を育んできた中央公民館

Web 行政調査 報告

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。
今回は、昨年度の経済建設常任委員会の概要を掲載します。

経済建設常任委員会

行政調査は、現地で実際の様子を確認しますが、コロナ感染症対策として沼田市議会では初めての試みとなる、インターネットを活用した「ウェブ行政調査」を実施しました。

令和2年11月5日、新潟県村上市の職員の方と「歴史資源を活用したまちづくり（歴史的風



沼田市初のウェブ行政調査

致維持向上計画等）」について画面を通じて調査を行いました。

村上市は、定住人口の減少と少子・高齢化、商店街の衰退、市街地の空洞化、集落の活力低下など様々な課題が山積。この課題を解決するため、「若者定住」「高齢安心」「交流拡大」「住み心地」「市民協働」という5つの柱からなる「まちづくり目標」を定めています。

歴史的資源を活用したまちづくりは、「交流拡大」と「住み心地」に関連しており、歴史資源や自然資源を活用した交流の場の創出と心地よい生活空間の形成を目的に計画を策定、実行しています。

歴史的風致維持向上計画は、「まちづくりの方向性や事業内容を提示することにより住民の合意形成を図ること」を目的とし、住民の合意を得るためのツールとして機能していました。

特徴は「歴史的風致を見える化した計画」であり、事業内容、期間、誰が事業を実施するかが明記されており、住民に対しては、アクションプランであるということを前面に押し出して合意形成を図っていました。

まちづくり団体が主にソフト部分の充実を担っており、町家を生かした観光イベントを開催しています。

また、「黒塀1枚千円運動」「緑10千円運動」など、まちづくり団体が自分たちでお金を集めて景観を整えるといった活動が進められています。

郷土愛・誇りの醸成・住民ニーズを把握して施策や事業展開をし、住民の協力体制を構築することが大事のことでした。

沼田市の歴史資源や自然資源を活用したまちづくりにも活かしていきたいと思えます。

次回定例会の日程

次回定例会は、8月31日（火）からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

いわゆる「コロナ禍」が勃発してから、既に一年半が経過しています。

スポーツなどで劣勢を一気に挽回する交替選手のことを指して「ゲーム・チェンジャー」と呼び、今回のワクチン接種は、まさに、それに当たると言っても過言ではありませぬ。

当初は、ワクチンの供給が現地に届かず、混乱も見られました。今後は順調に供給される見通しです。

もちろん、本人の同意を大前提としつつ、接種者が増えていくにつれ、市内に「集団免疫」が形成されていくことが期待されます。

そして一刻も早く、医療関係者を緊張の日々から解放し、以前の日常生活や地域経済活動を取り戻して、市民の笑顔が満開の秋となることを切に願うものです。

委員 高柳 勝巳

編集委員会
委員長 井上 弘
副委員長 星野 妙子

委員 高柳 勝巳 永井 敏博 島田 康弘
山宮 敏夫 大東 宣之 戸部 博